

特別展

書家

その書には、魂が宿る

十年の筆跡



アートハウスおやべ開館記念事業

2015 11.7 [土] ~ 11.29 [日]

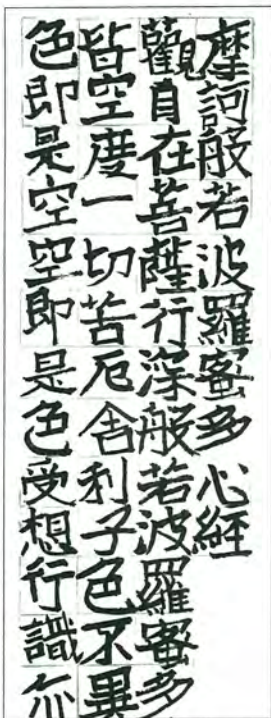
 **アートハウス おやべ**
(クロスランドおやべ内)

開場時間：10時～17時 (17時30分閉場)
水曜日休館
入場料：500円 (高校生以上)
※中学生以下 無料

主 催：(公財) クロスランドおやべ、NHKプラネット中部
制作協力：NHKプロモーション、京都文化協会



この事業は、宝くじの助成金で実施いたします。



十歳の般若心経(部分)1995年



大哉心乎[大いなるかな心(しん)や] 2014年



心 2013年



祈り 2012年

翔子は言葉の真の力を信じている。祈りの言葉によって、自分の痛みも苦しみも取れて良くなると言う。翔子の「祈り」には実体のエネルギーが宿り、その字には言霊が降りている。

金澤泰子



SHOKO KANAZAWA

金澤翔子はダウン症の天才書家として知られています。母泰子さんの献身的な努力を得て、2005年に20歳で書家としてデビューしました。その後、建長寺、建仁寺、東大寺、中尊寺、厳島神社などをはじめ、全国各地で個展や奉納揮毫きこうを開催。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」のタイトル題字を手がけ、2013年に国体開会式において巨大文字を揮毫するなど、その活躍の場を広げています。

2012年、毎年3月21日が「世界ダウン症の日」と国連で制定されました。ダウン症のある人たちとその家族、支援者への理解がより一層深まり、ダウン症のある人たちがその人らしく安心して暮らしていけるようにという願いが込められたものです。2015年の「世界ダウン症の日」の前日、3月20日にアメリカ・ニューヨークの国際連合本部において開催された「世界ダウン症の日記念会議」では日本の代表としてスピーチを行い、合わせてニューヨークで個展が開催されました。

本展では、ニューヨーク展で展示された新作に加えて、書を学び始めた初期の作品から書家デビュー10年を迎える今日までの秀作を展示。書家・金澤翔子の歩みを紹介する初めての展覧会です。見る者の心を揺さぶる感動の書。迫力の大字屏風や表情豊かな小作品の数々を通して、過去から未来へと繋がる金澤翔子の書の世界をお楽しみください。



心に光を 2013年



言霊 2015年



馬 2014年

■イベント情報

金澤翔子さんによる席上揮毫

11月7日[土] 14:00～

大筆を使い、心をこめて書に向かう様子をご覧いただけます。

場 所：クロスランドおやべ メインホール

入場料：無 料

母・金澤泰子さんによる講演会

11月7日[土] 15:00開演
(14:30開場)

場 所：クロスランドおやべ セレナホール

入場料：無 料(入場整理券が必要です)

※取扱 クロスランドおやべ、香希画廊 ほか

●お問い合わせ クロスランドおやべ TEL0766-68-0932

協力 香希画廊